

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3890100112
法人名	社会福祉法人ともの家
事業所名	ともの家 この道
所在地	松山市溝辺町甲93-1
自己評価作成日	平成23年1月13日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成23年2月1日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

木の温もりと優しさに包まれたホームです。今の時期は、暖炉に火をともし、ほんわり暖かく、皆の顔もほんわりと笑顔になる。ゆったりと時を刻み、その人らしく、穏やかで安心した生活の場を作っています

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

事業所が移転し、引っ越しされた際、車椅子を使用している利用者には車椅子用トイレの近くの居室にされたり、又、移転前のホームで生活していた際とトイレの位置が同じになるように、居室の場所にも配慮された。

居間には大きな窓が幾つもあり、自然の光が入り、窓際で日向ぼっこする利用者もいる。水仙の花を生けておられ、壁には、利用者の書初めを掲示しておられた。暖炉があり、湿度を保てるようにと鍋やかんをかけておられた。換気にも心がけておられ、利用者の起床前と、昼食後には窓を開けて換気されている。調査訪問時、有線放送に利用者がリクエストした演歌が流れ、職員と一緒に歌ったり楽しく踊ったりする利用者の姿が見られた。又、お手玉をされている利用者もおられた。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	<ol style="list-style-type: none"> 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない 	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない 	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	<ol style="list-style-type: none"> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない 	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	<ol style="list-style-type: none"> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない 	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	<ol style="list-style-type: none"> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない 	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	<ol style="list-style-type: none"> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない 	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目：28)	<ol style="list-style-type: none"> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない 		<ol style="list-style-type: none"> 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名

ともの家 この道

(ユニット名)

記入者(管理者)

氏名

吉田 真紀子

評価完了日

平成23年 1月 13日

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 毎月の職員会議等で理念の共有をし、それに基づき、年間、月間の目標をたて実践につなげている (外部評価) 法人の理念を基にした、年間目標と、月間目標を立てておられ、今月の月目標は「初心に戻り 気を引き締め 介護をさせていただく」と決めて取り組んでおられた。毎月の職員会議で目標が達成出来たかどうか振り返り、状況を見て次の月も継続して目標に挙げることもある。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 法人開催のロビー展とバザーを定期的に行い、地域の方との交流を計っている。またアンケートを配布し、声を聞かせていただいた (外部評価) 法人のロビー展やバザー開催時には、地域の方達に来ていただけるように、開催日時を回覧板で回したり、散髪屋やスーパー等にポスターを貼らせていただいて案内をされている。開催時には、利用者も職員とともにケーキや散らし寿司を販売された。近所の方で毎年来てくださる方もあり、楽しみにされている方も多いうだ。地域の方に「事業所がどう思われているか」を知るため、近隣の家を職員が二人一組で廻ってアンケートを実施された。100軒中、73軒の方が返答くださり、その結果、ともの家があるのは知っている人は多かったが、グループホームがどういう所か、又、認知症を知らない方がいることが分かったようだ。さらに「何かきっかけがないと足を運びにくい」という声も聞かれた。職員は、地域の方のお宅を訪問してアンケートを行ったことで、知らない家に突然行くのは行きにくいことを実感されたようだ。法人代表が講師となり、今後、地域の方に向けて「福祉講座」を行いたいと考えておられた。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 認知症啓発活動の一環として、地域包括支援センター、民生委員、GH職員協同で人形劇を作り、観て頂いた	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	(自己評価)	
			<p>参加者との意見交換をし、そこで出た意見を職員会議で取り上げ、再度確認しサービスの向上に活かすよう努めている</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	(自己評価)	
			<p>地域のグループホーム交流会を年2回開催し、運営推進会議同様必ず出席していただき協力関係を築いている</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	(自己評価)	
			<p>法人内の研修は基より職員全員が正しく理解しており拘束のないケアを実践している</p>	
			(外部評価)	
			<p>職員は、新人研修時等にも、身体拘束の具体的な行為を学び理解を深め、拘束のないケアを実践されている。又、管理者は、職員が利用者に気になるような言葉がけをしているような時には、その都度話をされており、職員は日々、気を付けながら取り組んでおられる。日中、玄関は施錠しておらず、居間に職員が一人は居るようにして、利用者個々の居場所の把握に努めておられる。気ままに出られる方には職員が見守り、タイミングを見て声をかけるようにされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 法人内の研修で学習し職員間でも常に話し合い相談しあえるようにしている	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 法人内研修を行い学習する機会を設けた。他に外部研修の参加学習も積極的に奨励している	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 利用相談があった時は、施設見学や体験入所などを勧め、時間をかけて契約に関する説明などを行い慎重に対応している	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者やご家族の意見や要望はそのつどお聞きし、職員間で話し合い運営に反映させるよう努めている (外部評価) 毎月のご家族宛ての書類の中に、それぞれの担当職員が書いた便りを同封して、利用者ご本人の生活の様子を知らせておられる。又、ご家族の来訪時、ケア記録を読んでいただき日々の様子を知ってもらっている。事業所が移転した際、ご家族の方から「是非、有線を設置してほしい」との要望があって、ご家族の方が有線放送を設置してくださった。現在、朝はラジオ体操チャンネルを付けて、みなで体操をされたり、利用者の方からリクエストの多い演歌のチャンネルを付けると口ずさむ利用者もあり、たいへん喜んでおられる。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			毎月開いている内部研修や職員会議等で、職員からでた意見や提案を積極的に取り上げ運営に反映させている	
			(外部評価)	
			職員会議で意見を出すこともあるが、普段の中でアイデアを出し、話し合い取り組みをすすめておられる。居間で過ごす時に「車椅子でいると病院のような感じがする」という職員の気付きから、大工仕事の得意な職員が「キャスター付き椅子」を製作され、椅子の向きをスムーズに替えることができ、車椅子から椅子に移ることができるようになった。法人全体で委員会を設置しておられ、事業所でも職員個々が何らかの委員会に所属して主体的に活動をされている。たとえば、研修委員会の職員は、資料をインターネットで検索して研修の資料として配布されている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			資格取得者に対しては資格手当がつき、法人に貢献した者には、それなりの処遇があり、各自が向上心を持って働ける職場である	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			新人研修や毎月の内部研修の実施、外部研修を奨励援助し、個人の資格取得も応援している	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			法人内の研修会に同業者へ案内し参加していただいた。地域のケア会議やグループホーム交流会で意見の交換を行い交流をはかっている	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			入居と同時に全職員、ご家族でケアカンファレンスを行いご本人の声をできるだけ詳しく傾聴し、安心を確保するための関係づくりに努めている	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ケアカンファレンス以外でも、こまめに連絡を取り信頼関係が築けるよう努めている</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご本人とご家族の思いを受け止め、まず必要としている支援を見極め対応している</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>職員は、日常の生活が学習の場となっている。言葉、表情、行動など触れ合いの中から学び支えられていることを感謝している</p>	
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>当法人は、ご家族をケアパートナーと位置付けている。双方からご本人を支えていく関係を築いている</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>日々の話しかけの中に、馴染みの名前や地名を意識して取り入れ、友人や知人の訪問も歓迎し、美容室は、行きつけを利用している</p> <p>(外部評価)</p> <p>以前からの行きつけの美容室を利用できるよう、職員が送迎のみ支援されている。美容室の人もご本人のことを良く分かってくださっており、ご本人も安心されているようだ。調査訪問時、ご主人が迎えに来られて、外出して行かれる方が見られた。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 共有の場所にソファや暖炉があり、それぞれが集えるようにしている	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 利用者が亡くなった後も、ご家族との連絡は途絶えないように行事の案内をしたり、命日には、必ず電話かご自宅に訪問させていただいている	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) ご本人、またはご家族にお話を聞き、その思いや願いを把握するように努めている。集めた情報は、職員間で共有しケアプラン立案にいかしている (外部評価) 管理者は「認知症のある方は、あらたまって気持ちを聞いても言われなかったり、思いを伝えられなかったりする」ため「日々の関わりの中で、本人の意向や気持ちを知る」ように取り組んでおられる。「何かしようか」と言ってくださる利用者には、ご本人の役割を見つけてお願いする等、ご本人の気持ちを尊重できるよう支援されている。毎朝と入浴後、化粧をする利用者には、ご本人の習慣や意欲を支援できるよう見守っておられ、ファンデーションを使い過ぎる等、その日のご本人の状態等も知ることができるようだ。職員が気付いたことは、連絡ノートに書き留めて職員間で共有されている。	日々の利用者の方との関わりの中で知り得た情報や気付いたことを個別に蓄積する書式等も工夫して、ご本人の思いや意向を探り、介護計画につなげていかれてはどうか。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 一人ひとりの背景をできるだけ詳しく知り、ケアプラン見直し時に、これまでの経過を把握し、新しく得た情報を加えるようにしている	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 一人ひとりに合わせた暮らしをしていただいている	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>日々のケアの中での気づきなどを、職員間で出し合いご家族と相談しながら、何が必要かということを考えケアプランを作成している</p> <p>(外部評価)</p> <p>サービス計画書には「ご家族の意見」の欄があり、ご家族に記入していただいたり、口頭で聞き取り記入されている。計画書作成時には、職員全員がそれぞれ援助内容を考え管理者に提出して、職員会議で話し合い「この人には何が必要か」考え、管理者がまとめ作成されている。モニタリングは毎月行い、介護度2.3の方は3ヶ月に1回見直し、介護度4.5の方は6ヶ月ごとの見直しとなっている。入居されて日が浅い方は、最初の1ヶ月、その後2ヶ月等、状況を見ながら作成されている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>関わった職員が、個人記録に記入し、職員間で情報を共有し実践等に活かしている</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>当法人の四事業所を行き来し交流をはかったり、クラブ活動の生け花や書道に参加していただいている</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>年2回の防災訓練時に消防署員の協力を得た。地域の防災士にも来ていただいた。地域の商店利用などで繋がりが持てるように支援している</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価)	
			毎月一回主治医による往診があり、気になる事柄を往診ノートに書き込みアドバイスをいただいたり、必要に応じて血液検査や健康相談をしていただいている。重度やターミナルケアの方には、訪問診療との連携も取れている	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	(自己評価)	
			利用者の変化や気になること等は、看護職員にいつでも相談でき、その時の状態に合わせて対応できるようにしている	
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価)	
			ご家族と共に病院関係者との情報交換や相談に努めている	
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価)	
			ご家族の希望をお聞きし、管理者と看護職らが中心となり、話し合いを持ち、職員全員で方針を共有するようにしている。昨年は2件のターミナルケアを実践した	
			(外部評価)	
			看取り支援時、居室にご家族がおられない間は職員がそばに居て、ご本人が居室で一人にならないよう支援された。管理者は、ご本人のこれからのことをご家族間で話し合う時、ご家族に、ご本人を交えて話し合ってもらえるよう伝えられた。又、出来るだけご本人に声を掛けてあげることすすめられ、ご家族と利用者ご本人の関係をとても大切に考えて支援されている。事業所でお通夜を行った際には、他の利用者も一緒に見送られた。法人で発行している「ともの家だより」には、亡くなられた利用者の方を偲んで、ホームでの生活のエピソードや体が弱って亡くなられるまでの様子、又、見送った職員からの感謝やお礼の言葉を載せておられた。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価)	
			主治医及び看護師による内部研修があり、職員は実践力を身につけている	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価)	
			防災訓練を定期的に行い、地域の方に避難の場所の確保など協力していただいている。法人内にも防災士があり、地区の防災士のアドバイスもいただいた	
			(外部評価)	
			運営推進会議時、地域の方やご家族、2階にある小規模多機能事業所と一緒に避難訓練を実施された。ご家族の方が車椅子に乗り、利用者役になって避難するような訓練も行われた。訓練を見てもらった後「2階から火が出た場合は煙は上に行くので、まず2階から避難するように」と防災士の方からアドバイスをいただいた。夜勤者は、燃えやすいものがないか、事業所の外回りを点検されている。	
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価)	
			職員は法人の接遇態度、援助のチェックポイントに基づき一人ひとりの思いを大切に、サービスの提供を行っている。介助の後には、必ず感謝の言葉を伝えている	
			(外部評価)	
			職員は、利用者とお話する際には、ご本人のそばで言葉をかけるようにされている。椅子から車椅子に移る際は「動きます」とご本人に伝えてから介助されている。調査訪問時、居室を見せていただく際、管理者は、ご本人に了解を得て、ご本人が自ら案内してくださった。後から管理者は、ご本人に「ありがとうございました」とお礼を言っておられた。職員は、着替え時、下着を衣類で見えないように配慮されたり、パット交換時も、ご本人にパットが見えないよう配慮しながら支援されている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価)	
			誕生日には、本人の希望の献立にしたり、朝の洋服選びや、朝食にパンかご飯か、など、そのつどご本人の意思を尊重している	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、 一人ひとりのペースを大切に、その日をどのよ うに過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 利用者ご自身が、散歩に行かれたり、お部屋で休まれたり、 と、臨機応変にその方に合わせた支援をしている	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよ うに支援している	(自己評価) ご自分でされる方には声掛けや見守りをし、そうでない方 にも外出やイベント時などに、その方に合ったおしゃれをして いただいている	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好 みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に 準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 職員と一緒に台所に立ち、野菜切り、盛り付け、片付けなど していただいている。できない方には、献立の食材を手に 持っていただいたり、匂いをかいでいただいたりと五感を感じ ていただいている	
			(外部評価) 昼食すべてと夕食のメインのおかずは、法人の厨房から出 来上がった食事が届き、朝食と主食、お汁等は事業所で手 作りしておられ、事業所で個人に合わせてミキサーに掛け たり、刻んだりして盛り付けされている。職員が「検査表」に利 用者の声をまとめ、厨房に届けるようにされている。誕生日 は、ご本人の食べたいものをお聞きして、お寿司作りをされ たり、お刺身をリクエストされる方もいる。朝は、ゆっくり起き て、9時頃から朝食を食べる方もあり、利用者個々の生活の リズムに合わせた支援に努めておられる。又「パンが食べ たい」「バナナジュースが好き」等、希望される方もおられ、その 時にお出しできるよう、常に食材を準備しておられる。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じ て確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣 に応じた支援をしている	(自己評価) 健康チェック表で摂取量を確認し、個々に合わせてミキサ ー食にしたり、トロミやゼリー、補食なども用意し提供している	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、 一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔 ケアをしている	(自己評価) ご自分でされる方には声掛けや見守りをし、そうでない方 には介助させていただいている	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 日中は、全員トイレで排泄していただいている。一人ひとりの状態を把握している (外部評価) トイレへの誘導は決まった時間に誘導するのではなく、利用者個々に合わせて誘導されている。薬とも併用しながらトイレ誘導を重ね、トイレで排便できるようになり、食事が増えたような方の事例もある。	利用者の中には「排便がしたい」ことをうまく表わせずにおられるような利用者もあり、管理者は、今後さらに利用者個々について「排泄ケアに力を入れたい」と話しておられた。利用者個々が気持ちよく排泄できるような支援から、個々の穏やかな暮らし支援していかれてほしい。
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 牛乳、ヨーグルト、食物繊維の多い食品を積極的に取り入れ、水分摂取も一人ひとりに合わせ、家事、体操、散歩などの軽い運動で自然排便に努めている	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) その時の状況をふまえ、一人ひとりに合わせて支援している (外部評価) 入浴は、週3回は入れるよう支援されている。リフト機械浴が設置されており、椅子が自動で上下して利用者の方も安全に、又、職員の負担も少なく入浴できるようになっている。機械浴用の昇降機を浴槽横のボックスに収納できるので、普通の浴槽にも入り入浴できるようになっている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 日中、日光浴や散歩、軽い運動を行い、夜間安眠できるように支援し、また居室内の温度や湿度にも気を付けている。日中も、一人ひとりに合わせた休息をしていただいている	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価)	薬に関しては、医師や看護師から説明を受け、職員全員が把握し、配薬、服薬のチェックも複数の職員で行っている
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価)	これまでの趣味や特技をいかした、一人ひとりに合わせたケアプランの実践を通し日々楽しく過ごせるように支援している
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価)	花見、遠足、運動会等法人の行事には、ご家族の参加もある。ご家族の協力を得ながら、馴染みの美容室にも定期的に出かけたり、一人ひとりに合わせた支援をさせていただいている
			(外部評価)	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)	スーパーなどに買い物に行った時の支払いは、できるだけしていただいている
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)	ご自分でできる方は、いつでもしていただき、できない方の支援として、贈り物などを、お話ししながら目の前で開け、手紙を読ませていただき、お礼の電話をかけ、声を聞いていただいたり、手紙の代筆をさせていただいている

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>心地よい音楽をかけ、季節の花を活け、子供たちとの写真を飾り癒しの空間を作っている</p> <p>(外部評価)</p> <p>居間には大きな窓が幾つもあり、自然の光が入り、窓際で日向ぼっこする利用者もいる。水仙の花を生けておられ、壁には、利用者の書初めを掲示しておられた。暖炉があり、湿度を保てるように鍋やかんをかけておられた。換気にも心がけておられ、利用者の起床前と、昼食後には窓を開けて換気されている。調査訪問時、有線放送に利用者がリクエストした演歌が流れ、職員と一緒に歌ったり楽しく踊ったりする利用者の姿が見られた。又、お手玉をされている利用者もおられた。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご自分専用の居場所があり、また好きなところで過ごせるように暖炉やソファがある</p>	
54	20	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>基本的に居室作りは、ご家族にお願いしている。ご家族の写真や趣味の品を飾っている</p> <p>(外部評価)</p> <p>息子さんやお孫さんの写真や、生け花ボランティアの方が来られた際に生けたお花を飾っておられる方もいた。事業所が移転し、引っ越しされた際、車椅子を使用している利用者には車椅子用トイレの近くの居室にされたり、又、移転前のホームで生活していた際とトイレの位置が同じになるように、居室の場所にも配慮された。</p>	
55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>共有の場所を真ん中にし、両側にそれぞれの居室がある。場所の確認として、貼り紙をしている</p>	